

『僕たちいけないことしてる』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	『僕たちいけないことしてる』の漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	『僕たちいけないことしてる』を読んだことのある10代～50代の男女17名
調査期間	2024年11月30日～2024年12月1日 2025年7月29日～2025年7月31日 2025年10月20日～2025年10月22日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/bokutatiikenaiowositeru/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 『僕たちいけないことしてる』を実際に読んだ評価を5段階で教えてください。

Q3: 『僕たちいけないことしてる』を実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

回答	回答数
20代女性	3名
30代女性	2名
40代女性	1名
20代男性	1名
30代男性	6名
40代男性	3名
50代男性	1名

Q2:『僕たちいけないことしてる』を実際に読んだ評価を5段階で教えて下さい。

～～作品の5段階評価について～～

★★★★★(とても面白かった):絵・物語・キャラに魅力を感じた。続きがあればぜひ読みたい

★★★★(面白かった):漫画の内容で面白かったり、満足できる要素が一つでもあった。

★★★(普通):面白いとも面白くないとも言えない。

★★(面白くなかった):あまり好きではない描写や要素があった。

★(全く面白くなかった):読んでいて不快・退屈だった。

★★★★★★	9人
★★★★★	5人
★★★★	2人
★★★	1人
★★	0人

Q3:『僕たちいけないことしてる』の面白いところやいいところなどの感想を教えてください。

自分を男としてしか認識していない藤生でしたが、日が続つにつれて変わっていく自分の体に、戸惑いを隠せない所が可愛らしかったです。憧れの叔父に責められ、今まで男らしかった藤生が、メスになっていく様子にドキドキしました。叔父の本音も知れて良かったです。

『僕たちいけないことしてる』は、青春の葛藤や禁断の恋を描いた作品で、非常に心に響くストーリーでした。登場人物たちの感情がリアルに描かれており、特に主人公の成長が印象的でした。彼らの選択や苦悩に共感しながら、物語に引き込まれていきました。特に、友情と恋愛の間で揺れるシーンは胸が締め付けられる思いでした。絵のタッチも美しく、感情表現が豊かで、キャラクターたちの心情が伝わってきます。何度も読み返したくなる作品です。

かなり激しい描写が多いにも関わらず、それに負けないくらいストーリーがよく出来ているのが凄いなと思いました！自分のことを「男」だと思い込もうとして生きてきた藤生が、自身の身体の成長に苦悩する様子が非常に上手く描けています。純愛ものとして期待以上のクオリティでした。

自分の好みとは離れている漫画の印象を抱いたが、画風が好みなので購入。ページを1ページまた1ページと読み進めていく度に身体の筋肉や肌の質感の描写に取り込まれていった。リアリティのある絵で"いけないこと"をしている2人を見ると、見ている自分さえも、"いけないもの"を見て"いけないこと"をしている背徳感に襲われる。1コマ1コマに描かれる生命の躍動感に気がつけば取り込まれていた。

内容的にはかなりハードなので、そういうのがお好きな方におすすめです。それもただ楽しむような内容ではなく、人生そのものに直結しているかのように感じさせられる内容に仕上がっていました。かなり濃厚です。いろいろ深読みもできたりと違う楽しみ方もできる漫画。独特の絵柄もたまりません。

自分は男だと思って生きてきたものの、身体はどんどん女になっていくことに戸惑いを感じている藤生と、叔父という立場でありつつも、酔った勢いで姪に手を出してしまった虎匡が、理性からその後肉体的な交わりはしない代わりに、おもちゃを使って開発をしていき、開発された藤生は虎匡の身体を求めるといふ、2人の離れられない関係を描いているところがよかった。まだ完全に女性の身体に成長しきっていない藤生の身体つきが、さらにリアリティを感じさせて、見てはいけな

ものを見た気になってしまいゾクゾクした。
兎に角、上級者向けの作品となっています。ハラハラさせられる内容だから読んでいて凄く楽しめるし、次はどんな内容が見れるのかと止まらなくなってしまう感じが凄く刺激的でいいですね。読んでいてめちゃくちゃドキドキさせられる内容でした。
かなり激しいのが特徴ですが、それだけではなく、主人公と叔父の感情の揺れ動きなども細かく描写されているのが良かったです。後半になるにつれてそのハードさが上がっていくのもすごいです。絵も細部までこだわって描いているのが伝わってきて、マンガとは思えないほどのリアルさを感じられました。
オールカラーで怪しげな雰囲気いっぱいイラスト。このイラストが更に物語の良さを引き立てていると思います。男の子とも女の子とも取れる中性的なヒロイン。おじさんが鬼畜ではなく彼もまた悩んでいて、なんとも怪しげな雰囲気の漫画です。
なかなかハードでした。ヒロインの藤生は自分を男だと思っていただけあり、女としての快感に目覚めた時の戸惑った様子が良かったです。絵柄が濃いというか劇画調ということもあり、それぞれのシーンがかなり重たかったです。ただそれによって藤生が新たな扉を開いていく姿にドキドキ出来て良かったです。
少し昔の作品ですが、作り込みがヤバいですね。田舎の夏の雰囲気を味わえる独特で、少しノスタルジックな作画。キャラの細かい感情のゆらぎなど、繊細だし、すごく丁寧に作られていると思いました。正直汚い系のシーンは嫌だし、ハードなものあまり読まないのですが、これはすごくのめり込んで読むことができました。とにかくストーリーがいい。
縁側とか畳とか、なんだか田舎を思い出すような雰囲気の漫画です。やっていることがなかなかすごいのですが、なんだか情緒があるというか、オトナ向けのシーンだけでなく、いろんな気持ちで読むことができる不思議な漫画だと思いました。こんな同人誌がもっと増えてもいいですね。
オトナ向けの漫画を読むという本来の目的を忘れてしまうぐらい、普通の小説を読む感覚で読み進めてしまいました。オトナ向けのシーンがなければ、道徳の授業とかででてきても違和感がないほどストーリーが完成されています。作者さんの新作とかでないか気になりますね。
自分も子を持つ父なので、父親に感情移入ができました。自分の子供はどんな風に成長するのかなとか、こんな風にコンプレックスを抱えてしまったらどういう風に接したらいいんだろうと色々考えさせられるいい機会になりました。もともとオトナ向けのシーンが目的で購入したのに、これは良い誤算です。
男装女子というよりは、男と思っ込んでいる女って感じですね。シチュエーション、設定ともかなり特殊ですが、無理やり女にされていく展開です。身体で教え込まれている中で、本気で女性として理解らせられてしまうのです。濃厚な雰囲気と絵のタッチが非常に合っていて、芸術性すら感じてしまいました。
されることに驚きつつも、自分の内面の変化にも驚愕していくという展開。さらに、プレイ内容もかなりバリエーション豊富かつ様々な深みもあります。身体の内側と外側両方から責められて屈服させられる展開は何とも言えない…。マニアック一言で片付けてしまうのはもったいないぐらいのディープな内容で、読後感も絶妙でした。
結局こういう事されたら後はどうなっちゃうんだろう。開発が進むごとに、喜びのほかに、失っているものも大きい気がします。叔父は本当にもう容赦なく、ただの実験台としてしか考えていないんじゃないかなと思えるぐらいの鬼畜。さらに、それに素直に全部良くなってしまう藤生がたまらないです。罪悪感が高まっていく心理も伝わってきます。

